

【出版案内4】

「環境都市のデザイン」

環境負荷の小さな都市システムを実現するための100の方策

人間を取り巻く環境は、全ての人間が共有する大きな有形無形の財産である。環境の状態や質がうるおいと美しさに満ち魅力的なものであることは、我々共通の願いであり、21世紀に向けて、豊かな環境を損なうことなく、後の世代に継承していくことは、我々の重大な責務である。

都市化の進展により既に人口の相当部分が都市に居住している我が国において、とりわけ大きな課題は、都市における環境のあり方である。人間活動の場としての都市が高度な社会経済機能を有し、様々な利便性を提供する一方で、資源・エネルギーの大量消費地であり、大気、水、土壌等の物質循環の中で環境へ大きな負荷をかけ続けている状況から見て、今日、環境に関わる問題は、すぐれて都市の問題であるといえることができる。

以上のような問題意識から、土地総合研究所において、研究会（座長：伊藤滋慶大教授）を設け、都市計画に基づく環境負荷の小さな都市システムについて検討を行った。

本書は、研究会における数次にわたる検討に基づいてまとめたものであり、現在の都市環境問題を平易に説明しながら、都市計画に基づくその解決の指針及び数多くの国内外の取り組みを提示するものである。

監修＝建設省都市局都市計画課

編集＝（財）土地総合研究所・環境都市研究会

発行＝（株）ぎょうせい

平成6年2月初版発行